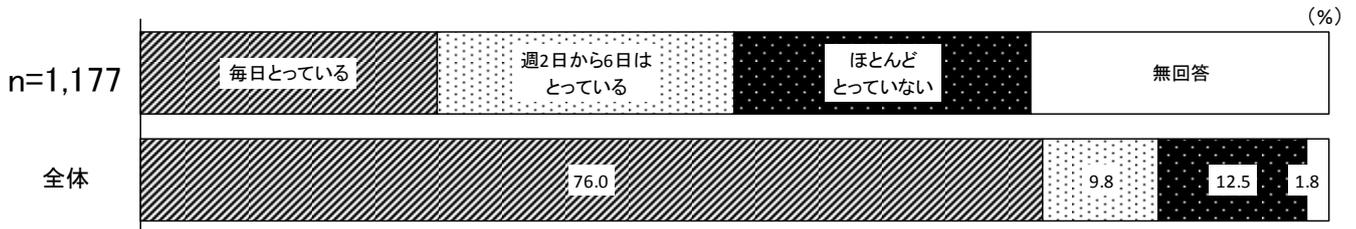


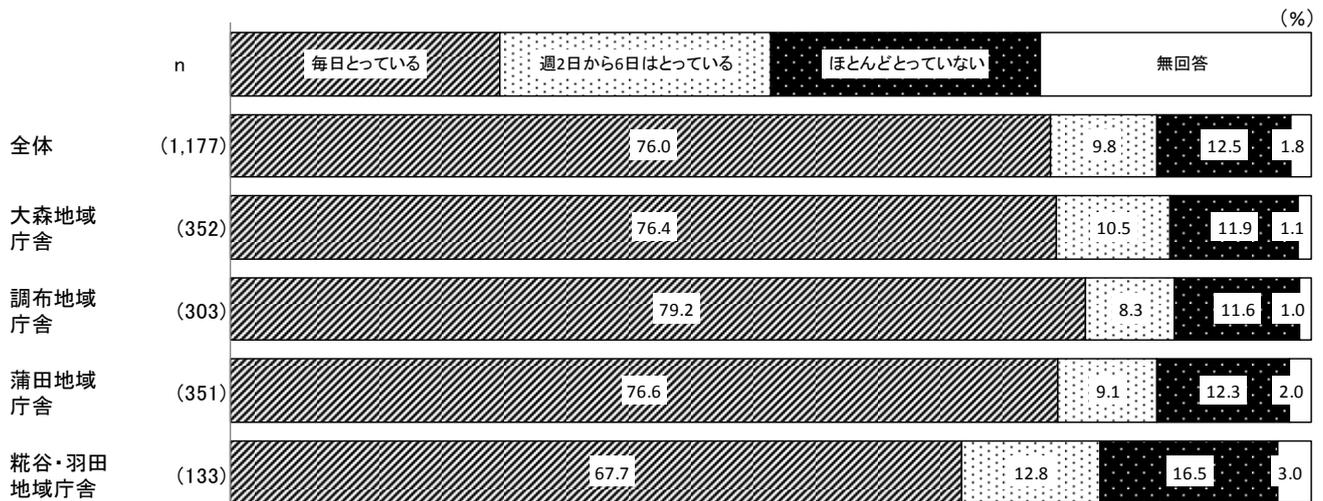
4 保健・健康対策

問6 あなたは、ふだん朝食をとっていますか。(○は1つ)



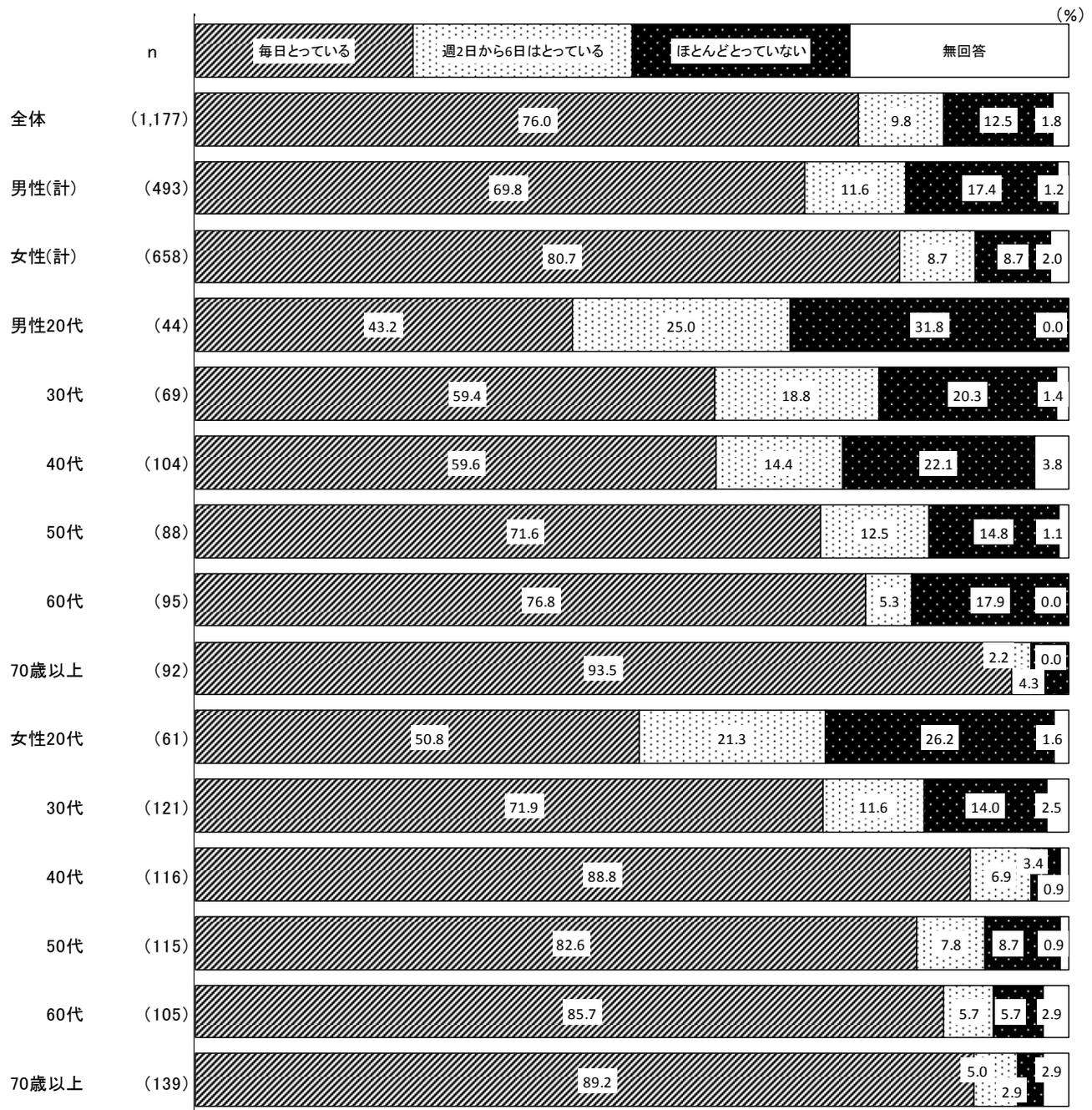
- ・全体では「毎日とっている」が76.0%と最も割合が高い。

【朝食をとっている×地域庁舎管内別】



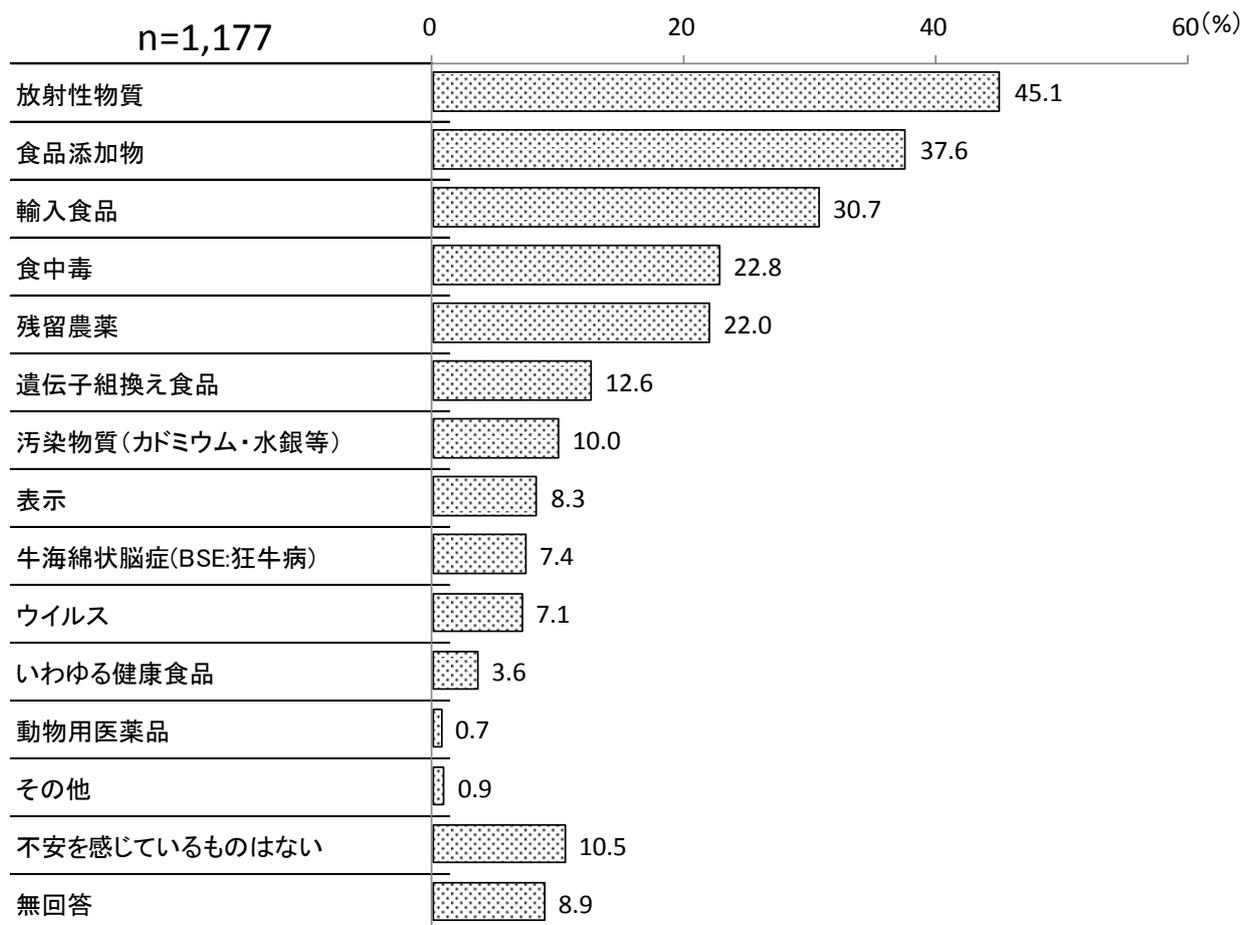
- ・地域庁舎管内別にみると、大森地域庁舎、調布地域庁舎、蒲田地域庁舎では「毎日とっている」が7割を超えている。糎谷・羽田地域庁舎では「毎日とっている」が6割台半ばを超えるにとどまる。「週2日から6日はとっている」が12.8%と他の地域庁舎管内に比べやや高い割合となっている。
- ・一方、「ほとんどとっていない」という人も全体で1割強を占めている。特に糎谷・羽田地域庁舎管内では16.5%と他の地域庁舎管内に比べ割合が高くなっている。

【朝食をとっている×性／年代別】



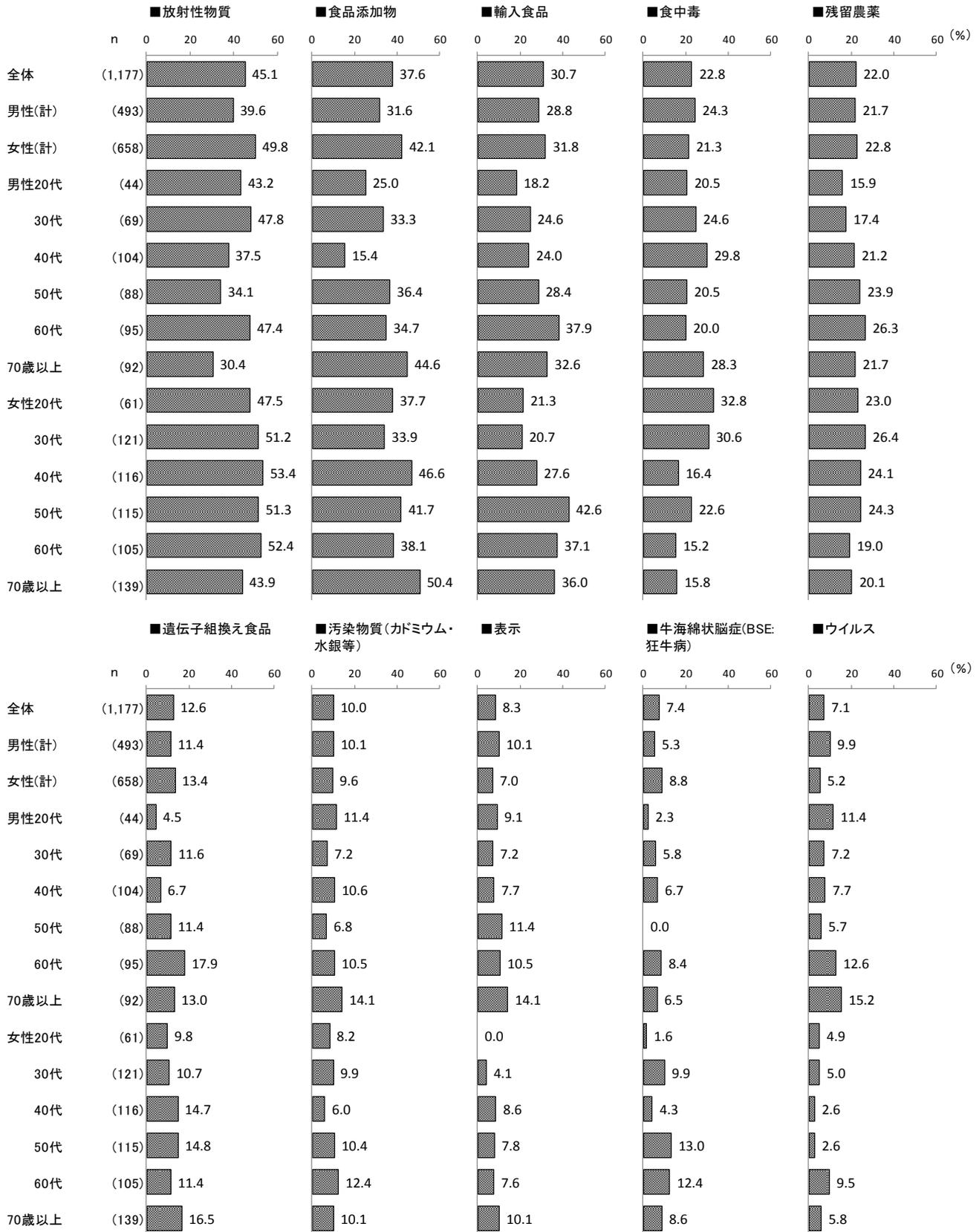
- ・性別にみると男女とも年齢が上がるほど「毎日とっている」の割合が高くなる傾向にある。「ほとんどとっていない」では男性(計)が17.4%で、女性(計)8.7%に比べ8.7ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、男性は全体的に「ほとんどとっていない」割合が女性に比べて高く、特に男性20代では31.8%と3割強となっている。女性で「ほとんどとっていない」は20代(26.2%)、30代(14.0%)で他の年代別に比べ割合が高くなっている。40代以降になると1割未満まで減少する。
- ・一方、「毎日とっている」では男性70歳以上(93.5%)、女性70歳以上(89.2%)で他の年代別に比べ割合が高くなっている。

問7 食品の安全性について不安を感じているものがありますか。(〇は3つまで)



- ・全体で見ると、前回調査で最も割合が高かった「食品添加物」を抜いて「放射性物質」(45.1%)の割合が最も高くなっている。ただし、前回調査では「放射性物質」の選択肢は無く、今回調査では東日本大震災による原発事故を受けて選択肢の一つとしていることに留意したい。「放射性物質」を除くと、「食品添加物」(37.6%)、「輸入食品」(30.7%)、「食中毒」(22.8%)の順となっている。
- ・前回調査での上位5項目は「食品添加物」(1位・50.1%)、「輸入食品」(2位・49.9%)、「残留農薬」(3位・43.9%)、「食中毒」(4位・26.5%)、「遺伝子組換え食品」(5位・21.4%)であり、今回調査での選択肢「放射性物質」を除くと、同じ項目があげられている。
- ・前回調査に比べ「不安を感じているものはない」が6.9%から10.5%と3.6ポイント増加している。

【食品の安全性について不安を感じている×性／年代別（上位 10 項目）】



- ・上位 10 項目を性別にみると、「放射性物質」では女性（計）が 49.8%と男性（計）39.6%に比べ 10.2 ポイント、「食品添加物」では女性（計）が 42.1%と男性（計）に比べ 10.5 ポイント高くなっている。「ウイルス」では男性（計）が 9.9%と女性（計）5.2%に比べ 4.7 ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、男性 70 歳以上で「汚染物質（カドミニウム・水銀等）」（14.1%）、「表示」（14.1%）、「ウイルス」（15.2%）が他の年代に比べ高い割合となっている。
- ・女性 20 代では「食中毒」が 32.8%、30 代で「残留農薬」が 26.4%と他の年代に比べ高い割合となっている。